



高年齢者のための職場バリアフリー化が進む工場内
 中津川市駒場、加藤製作所

高年齢者雇用で助成金

加藤製作所 県内事業所では初

家電・自動車部品製造の加藤製作所(本社中津川市駒場、加藤幸平社長)にこのほど、「高年齢者のための職場バリアフリー助成金」が、高年齢者雇用開発協会から支給された。支給額は約二千万円。県雇用開発協会によると県内事業所では初の支給だという。

同制度は、高年齢者の雇用・就業機会の維持や確保のため、職場のバリアフリー化に総合的に取り組み、先進的モデルとなる事業主に対し、改善費用の一部を助成する。職場改善のポイントは▽バリアフリー化▽ロボットなどの機器導入▽暖房システム完備▽畳敷きの休憩所設置など。同社では改善に約三千万円を投じたが、その費用の四分の三が助成された。同社は今年四月から、六十歳以上の年齢制限を設けてパートを募集。現在十五人が土日・祝日に出勤することで年中無休体制を確立し、機械稼働率を上げている。

加藤景司専務(四〇)は、



「改善は平日に働く正社員にも喜ばれている。助成金支給は大変ありがた。超高齢化社会を迎えたい。超高齢化社会を迎えたい」と話している。

た現在、社員と高年齢者のパート社員が共生しながら収益を上げ、厳しい時代に勝ち抜きたい」と話している。